



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
2月24日
発行

第168回 「金融緩和だけではなかったアベノミクス」

～自助努力を促す仕組みがポイント～

初めに

日銀総裁人事をきっかけにアベノミクスを再評価する動きが出てきました。これまで、多くの評価は「成功したのは金融緩和だけ」「他に見るものはない」といったところだと思います。しかし、自分はアベノミクスは優れた経済政策で、見るもの参考にできるものは極めて多いと考えています。今回は、アベノミクスの政策のうち、結果を出しているもの、現在でも進行中のものなどについてコメントします。

異次元緩和の評価

異次元緩和はアベノミクスの中でも注目度の高い施策です。一般的に、異次元緩和はアベノミクスの成功例、という見方が多いようですが、自分はそうは考えてはいません。確かに、アベノミクス導入時に果敢な金融緩和で景気を回復させた点は評価できますが、本来なら短期的な施策となる金融緩和を長期にわたって続けたことが、現在では市場原理の機能不全などの問題を引き起こしています。異次元緩和の評価は前半だけであれば良かったといえますが、後半を含めて考えると良い時もあったが悪い時もあった、となるでしょう。

成功例はインバウンド

自分がアベノミクス最大の成功例として考えているのはインバウンド（観光立国）です。世界各国から外国人が日本を訪問し、観光地を回ってお金を落としてくれるようになりました。今でもその勢いは衰えていません。インバウンドの成功には二つの理由があります。一つは、異次元緩和の効果で為替レートが円高より円安に振れることの方が多くなったことです。これにより、日本を訪れる外国人の数が大きく増加したとみられます。もう一つは、安倍元首相を先頭とする政府の努力です。安倍氏は外遊の機会をとらえて各国の要人に日本の産物などを紹介しました。これも、インバウンドが活発化した理由の一つだと思います。

ふるさと納税も成功例

インバウンド同様にアベノミクスの成功例として自分が評価しているのがふるさと納税です。この二つには共通点があります。それは、単に政府からの支援を受けるというだけでなく、自助努力を促すという特徴を持っていることです。どちらの場合も、魅力ある返礼品やお土産の開発などが重要なポイントになります。政府の経済対策では補助金などが配られますが、使ってしまうばそれまでです。しかし、ふるさと納税の返礼品や外国人のお土産などであれば「いいものを作りたい」という意欲も湧くと思います。アベノミクスのなかでもこうした自助努力を促す仕組みになっているものに、菅前首相のリーダーシップによるものが多いと聞いたことがあります。このインバウンドやふるさと納税も、成功したアベノミクスの一つだと思います。

不幸な事件によって安倍氏は世を去りましたが、アベノミクスの精神は多くの人の中で今でも生きています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。